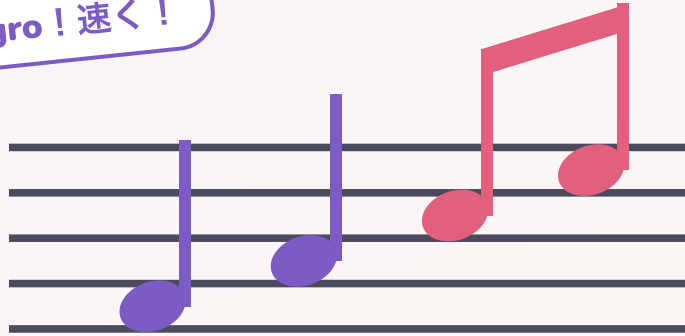


Allegro! 速く!



Largo... ゆっくりと

速度記号

曲の速さを表す言葉を知ろう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

テンポのきほん	3～5
速さを表す言葉	6～10
テンポの変化	11～13
テンポを使いこなす	14～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

音楽には、それぞれ決まった速さがあります。

楽譜の最初には、速さを表す言葉や記号が書かれていることがあります。これを読み取ると、作った人がイメージした速さに近づけます。



- テンポは、イタリア語の言葉で表されることが多いです。
- 同じ曲でも、テンポを変えると別の曲のように聞こえることがあります。

1. 好きな曲のリズムを、手拍子で速く・ゆっくりとたたいてみよう。感じのちがいを書こう。

メトロノームは、一定の速さを教えてくれる道具です。

metronome

一定の間かくで音を鳴らし、テンポを示す道具

- メトロノームは、カチカチと一定の間かくで音を鳴らします。
- 曲を練習するとき、速さがずれていないか確かめるのに役立ちます。
- 最近はアプリでも使えるものがあります。

1. メトロノームやアプリを使って、一定の速さに合わせて手拍子してみよう。

書いて覚えよう

BPMの意味

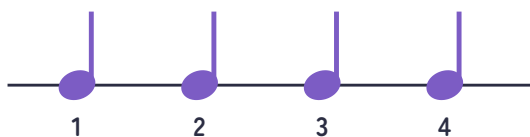
BPMは、1分間の拍の数を表す単位です。

BPM

beats per minute

1分間に何回拍をきざむかを表す数字

拍を数えてみよう



この4つの拍が1分間に何回くり返されるかを表す数字が、BPMです。

ポイント

- BPMの数字が大きいほど、テンポは速くなります。
- BPM60は、1秒に1回のペースです。

やってみよう

1. 時計の秒針に合わせて、1秒に1回手をたたいてみよう。それがおよそBPM60です。

書いて覚えよう

Largoは、いちばんゆったりとした速さです。

広々と、ゆったりと

とてもゆっくりとした速さ

ポイント

- Largoは、速度記号の中でも、もっともゆったりした部類に入ります。
- 重厚で、どっしりとした曲の始まりなどに使われます。

やってみよう

1. ゆっくり深呼吸するくらいの速さで、「ドー」と声をのばしてみよう。

書いて覚えよう

Andanteは、歩くくらいの速さです。

歩くように

歩くくらいの、ゆったりとした速さ

ポイント

- 「Andante」は、イタリア語で「歩く」という意味の言葉から来ています。
- 急がず、落ち着いて歩くくらいのペースをイメージしましょう。

やってみよう

1. その場で歩くように足ぶみをしながら、同じペースで手をたたいてみよう。

書いて覚えよう

速すぎず遅すぎない、ふつうの速さ

- 「Moderato」は、「moderate（ほどよい）」と同じ語源を持つ言葉です。
- 多くの曲で、基本になる速さとして使われます。

1. Largo・Andante・Moderatoの順に、少しずつ手拍子を速くしてみよう。

Allegroは、快活に速い速さです。

快活に、速く

明るく元気な、速めの速さ

ポイント

- 「Allegro」は、もともと「陽気な、うれしい」という意味の言葉です。
- 元気で明るい印象の曲に、よく使われます。

やってみよう

1. 元気よく、軽快な速さで手拍子を4回×2セットたたいてみよう。

書いて覚えよう

Prestoは、非常に速い速さです。

きわめて速く

速度記号の中でも、もっとも速い部類

ポイント

- Prestolは、速さの言葉の中でもっとも速い部類に入ります。
- 急ぎすぎて音がくずれないよう、正確さも大切にしましょう。

やってみよう

1. Allegroよりさらに速く、手拍子をたたけるか挑戦してみよう。

ワンポイント 速い速さで演奏するときも、1音1音を丁寧に出すことを忘れないようにしましょう。

書いて覚えよう

だんだん速く・だんだんゆっくり

テンポも、少しずつ変化させることができます。

だんだん速く

accelerando (accel.)

アツチェレランド

少しずつテンポを速めていく

だんだんゆっくり

ritardando (rit.)

リタルダンド

少しずつテンポをゆるめていく

ポイント

- 急に速さを変えるのではなく、なめらかに変化させます。
- 曲の終わりに向けてritardandoが使われることがよくあります。

やってみよう

1. 手拍子を、だんだん速く4回、その後だんだんゆっくり4回たたいてみよう。

書いて覚えよう

もとの速さで

テンポを変化させた後、もとの速さにもどす合図



ritardandoの後にa tempoって書いてあるよ。



ゆっくりにした後、もとの速さにもどす合図だね。

- a tempoが出てきたら、変化する前のもとの速さに一度もどります。

1. だんだんゆっくりにした手拍子を、a tempoの合図でもとの速さにもどしてみよう。

フェルマータ

フェルマータは、音をのばす記号です。

フェルマータ

fermata

音符や休符の上に書かれ、長さを自由にのばす記号

ポイント

- フェルマータは、半円と点を合わせたような形の記号です。
- 決まった長さはなく、演奏する人の感じ方でのばす長さが変わります。
- 曲の終わりの音などに、よく使われます。

やってみよう

1. 「ドー」の音を、いつもより長く、自分の好きな長さまでのばしてみよう。

書いて覚えよう

速さで曲の感じが変わる

テンポが変わると、曲の雰囲気も変わります。

速さ	感じられる印象の例	使われやすい場面
Largo・Andante	落ち着いた、しずかな	曲の始まり、しずかな場面
Moderato	自然な、ふつうの	多くの場面
Allegro・Presto	元気な、いきいきとした	もりあがる場面

ポイント

- 同じメロディでも、テンポによって伝わる印象が変わります。

やってみよう

1. 同じフレーズを、ゆっくりと速く、両方の速さで歌ってみよう。感じのちがいを書こう。

書いて覚えよう

曲の速さを、耳で聴き分ける練習をしよう。

- 曲を聴くとき、足でそっと拍をふみながら聴くと、速さを感じ取りやすくなります。
- 「速い・つう・ゆっくり」の3段階で判断してみましょう。

やってみよう

1. 好きな曲を2曲聴きくらべて、どちらが速いか書こう。

書いて覚えよう

メトロノームで練習

メトロノームに合わせて、正確なテンポを身につけよう。

ポイント

- 最初はゆっくりのテンポから始め、慣れてきたら少しずつ速くしていきましょう。
- メトロノームの音より先に手をたたかないよう、よく聴いて合わせる事が大切です。

やってみよう

1. メトロノームやアプリに合わせて、20回手拍子をそろえてみよう。

ワンポイント 速くしすぎて手拍子が乱れたら、一度ゆっくりに戻して確認しましょう。

書いて覚えよう

速さを保つコツ・速さを変えて歌う

一定の速さを保つ力と、変化をつける力の両方を身につけよう。

ポイント

- 速さを保つには、体のどこかで拍を感じ続けること（足ぶみなど）が役立ちます。
- 速さを変えるときは、次のフレーズの速さを頭の中で先に思い描いておくとスムーズです。

やってみよう

1. 好きな歌を、Andanteの速さで歌った後、Allegroの速さで歌ってみよう。

書いて覚えよう

速度記号を、しっかり覚えられたか確認しよう。

速度記号を、しっかり覚えられたか確認しよう。

1. Andanteの意味は？ _____
2. Prestoの意味は？ _____
3. a tempoの意味は？ _____
4. LargoとAllegro、速いのはどちら？ _____

速さを決めて演奏

自分で速さを決めて、表現してみよう。

曲名

決めた速さ

理由

変化させたところ

Ken の例

曲名 ふるさと／決めた速さ Andante／理由 なつかしさをゆったり感じたいから／変化させたところ 最後にritardando

ポイント

- 正解は1つではありません。自分がどう感じるかを大切にしましょう。

書いて覚えよう

1. 好きな曲を2曲えらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

速さを、体で合わせる練習をしよう。

- A (Andanteで) ゆっくり手拍子
- B (まねして) ゆっくり手拍子
- A (Allegroで) 速く手拍子
- B (まねして)

ポイント

- Aが出した速さを、Bがまねする「まねっこ遊び」です。
- 速さがそろわなくても、何度もうくり返すうちに合ってきます。

書いて覚えよう

つまりきは、上達へのステップです。

よくあること

気づかないうちにテンポが上がる

LargoとAllegroを混同する

こうしてみよう

定期的に速さをチェックする

遅い順に並べて覚える

- ゆっくり・速いの言葉を、順番に並べて覚えると混同しにくくなります。

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

テンポの基本

☐ テンポ

音楽の速さ

☐ メトロノーム

一定の速さを示す道具

☐ BPM

1分間の拍の数

速さの言葉

☐ Largo

ゆったりと

☐ Andante

歩くように

☐ Allegro

快活に速く

変化する速さ

☐ アツチェレランド

だんだん速く

☐ リタルダンド

だんだんゆっくり

☐ a tempo

もとの速さで

その他

☐ Presto

きわめて速く

☐ Moderato

中くらいの速さ

☐ フェルマータ

音を自由にのばす記号

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、曲のイメージがつかみやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

Largo	●	● ア. きわめて速く
Andante	●	● イ. ゆったりと
Allegro	●	● ウ. 歩くように
Presto	●	● エ. もとの速さで
a tempo	●	● オ. 快活に速く

2. 言葉の意味を書こう

1. Moderato → _____
2. Allegro → _____

3. 正しい言葉を選ぼう

1. いちばん速い速度記号 → (Largo / Presto)
2. 音を自由にのばす記号 → (フェルマータ / a tempo)

書いて覚えよう

ふり返しチェック

できるようになったことを確かめよう。

- | | | |
|--------------------------|----------------------------|----------|
| ☐ | Largo～Prestoの意味を言える | 速さの言葉 |
| ☐ | BPMの意味を言える | 数字と速さの関係 |
| ☐ | アツチェランドを体で表せる | だんだん速く |
| ☐ | フェルマータの意味を言える | 音をのばす記号 |
| ☐ | メトロノームに合わせて手拍子できる | テンポを保つ力 |

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。

書いて覚えよう

家でできる練習

毎日少しずつ、速さにふれよう。

朝

Andanteの速さで足踏み

移動中

歩く速さと曲の速さをくらべる

おふろ

好きな曲をAllegroの気持ちで歌う

夕方

メトロノームで手拍子練習

夜

速さノートに1行書く

週末

家族と速さクイズを出し合う

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

自分で決めた速さで、歌や演奏を発表しよう。

発表した曲

決めた速さ

工夫したところ

聴いてほしい人

Emma の例

発表した曲 きらきら星／決めた速さ Moderato／工夫したところ 最後にritardando

感想を3文で書こう

① 速さを意識すると、～な感じになりました。② とくに、～のところがうまくいきました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

テンポの世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

楽譜を見る

好きな曲の速度記号をさがす

演奏会へ

生の演奏のテンポを体感する

録音して

自分の速さを聴き直す

次のステップ

シャープ・フラット

音の高さの記号を学ぶ

拍子

リズムのまとまりを学ぶ

表現

速さと強弱を組み合わせる

ポイント

- この教材の次は「シャープとフラット」。音の高さの記号を学んでいきます。

書いて覚えよう

3. これから意識してみたいことは？

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

速度記号チャレンジ

教室の外でも、速さの学びはすぐに楽しめます。

見つけよう

身のまわりで**速い動き・ゆっくりな動き**をさがす

歩こう

Andanteの速さで1分間歩いてみる

聴こう

好きな曲の速さの変化に注目して聴く

こたえ

L18 1. 歩くくらい 2. さわめて速く 3. もとの速さで

L33 (例) 速度記号は、曲の速さを表す言葉や記号。

L26 Largo→イ Andante→ウ Allegro→オ Presto→ア a tempo→エ

2. 中くらいの速さ / 快活に速く 3. Presto / フェルマータ

書いて覚えよう

速度記号 (Season 2 | No.14)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

詳しくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。